



令和2年度

## 白岡中央総合病院 新入職員

### 新入職員

医師 2名 / 看護部 20名 / 薬剤部 3名  
 検査技術科 2名 / 放射線技術科 2名  
 臨床工学科 1名 / 健康管理課 1名  
 リハビリテーション技術科 12名  
 医事課 3名 / 経理課 1名

計47名

今年度は、47名の新しい仲間が加わりました！  
 どうぞよろしくお願い致します！



## 新入職医師紹介



整形外科  
佐竹 厚志 医師

今年4月より白岡中央総合病院整形外科に勤務することとなりました佐竹厚志です。

出身大学は自治医科大学で、卒業後は地元の岐阜に戻り急性期病院、診療所勤務を経験しました。

診療所勤務の際には整形疾患のみでなく、一般内科、皮膚科、小児科など拙い知識ではありましたが全て診ておりました。整形疾患以外にも気軽に何でも相談してもらえそうなドクターを目指して地域に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



外科  
巷野 佳彦 医師

令和2年4月から外科に入職いたしました。

3月まで栃木県の自治医科大学消化器一般移植外科に所属し、大学病院や関連病院で臨床に従事してきました。専門は大腸外科で、腹腔鏡手術を含めた外科治療を行っております。

これまでの経験を踏まえて、病院スタッフの皆さんや周辺医療施設の皆さんとの連携を深めてよりよい医療を提供できるように頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 新入職員 代表挨拶



3A 病棟看護師 辻 瑞姫

希望の部署に配属となり、これから看護師として働ける喜びを感じる一方、初めての経験に不安や緊張も感じています。患者さまや先輩方、多職種との関わりの中で、たくさんのことを吸収していきたいです。まずは、自分ができることを一つ一つ積み重ねていき、自分の目指す看護師像に近づいていきたいと思っています。1年後には、今より自信をもって看護師と名乗れるように努力していきたいと思っております。



当院の医師より、  
地域の皆さまへ

# そうだ、**病院**へ行こう。

～ 検診で癌の早期発見を～

こんにちは。白岡中央総合病院外科の森田です。

5年前、外科の常勤スタッフがいなくなったところから、今井医師と2人だけで、外科診療を開始しました。非常勤スタッフや病院スタッフ、近隣開業医方々などの支援を受け、現在は、内藤医師、巷野医師と常勤医師4名体制になり、手術症例も順調に増えてきました。

地域の方々の応援もあり、白岡中央総合病院外科を利用される患者さんも増加傾向にあります。手術症例数も年間80例から212例となっています。

今日は、その中でも癌の話をしてみましょう。

テレビドラマでは、「私、失敗しないので」と、どんな病気も外科医のメスで治ってしまいます。実際には、治る癌、治らない癌とあります。顔を見て、全てが判れば良いのですが、科学はそこまで進んでいません。治療法も、内視鏡、外科手術（開腹、腹腔鏡）、抗癌剤、放射線治療、最近は、ノーベル賞受賞にもなった免疫療法（オプジーボ、一般名ニボルマブ）など、多岐に渡っています。

これらの治療法をいかに、組み合わせて、最善の治療を提供できるかが、私たちの仕事です。

白岡での診療は、優しい患者さまが多く、私たちも楽しく、やりがいを持って、診療に当たっています。

しかし、困ったことがあります。進行癌の患者の割合が非常に多いのです。

消化器のがんでは、STAGEが0（もしくは1）から4までの5段階に分かれています。国立がん研究所中央病院（築地）の統計では、直腸癌で一番進行しているSTAGE4の割合は、5%ですが、白岡での最近5年間では15.9%になります。胃癌でもSTAGE4で比較すると、築地では3.8%に対し、白岡では17.3%です。

原因の一つには、検診の受診率が挙げられます。

胃癌検診も大腸がん検診も、全国平均は約40%になりますが、白岡ではそれぞれ4.5%、3.9%でした。がんは進行

癌でも症状が出るまで、時間が結構かかります。症状の出た時は、かなり進んだ状態なのです。風邪のように、だるいとか症状が出ることは少ないです。



検診方法も、胃癌に関しては、変化が見られます。胃癌検診も、従来はバリウム検診のみでした。最近の研究では、内視鏡検査の有用性が認められています。3年以内に1回でも内視鏡検診を受けると胃癌死亡率が30%も減少します。バリウムでは20%程度に止まります。厚生省の指導勧告もあり、胃癌検診で内視鏡を行うように勧められており、県内もさいたま市や川口市では導入されています。

医師会も内視鏡検診導入に向けて、頑張っています。早期胃癌だと内視鏡で処置が終わるものが、外科手術になると、入院費を含めると約10倍の費用がかかります。皆さんの後押しが、大きな目で見ると、医療費の削減にもつながります。

まずは、近くの医療機関で、検診を受けてください。内視鏡検診実現のために行政にも、働きかけましょう。

そうだ、病院へ行こう。

あなたの幸せが、

ずっと続くことを強く願っています。

外科 森田 大作 医師





## CT 装置更新のお知らせ

この度、当院では更なる検査の質向上と患者さまに安心して検査をお受けいただく為、64列マルチスライスCTを導入致しました。

従来の装置に比べ、より短時間で広範囲、高精細の検査が可能となりました。また約100倍の超高感度を達成したガーネット検出器により、被ばくを低減することが可能となっております。当科では医療被ばく低減施設認定を取得していますが、今後はより一層患者さまの被ばくに対しまして、少ない被ばく線量にて検査施行させていただきます。

また、Dual Energy CTでは様々な画像(スペクトラル解析画像)を得ることができ、コントラストの改善や色々なアーチファクト(画像の劣化)の低減を図れます。

更に逐次近似応用金属低減画像再構成法(Smart MAR)により、今まで得る事が難しかった体内にある金属インプラントによるアーチファクトの低減を実現しました。

そして従来のCT装置と比較し、2.5倍の情報密度で画像再構成を可能とし、全身高分解能画像を得る事ができるようになりました。



従来画像

金属低減処理画像

その他にも、高いエネルギーや低いエネルギーの画像(仮想単色X線画像)各々を作成することが可能となりました。例えば低いエネルギーを使用する事で造影CT検査では造影効果を変化させることが可能となり、従来と同等量の造影剤を使用した場合には、従来よりも造影効果の高い鮮明な画像を取得することが可能となります。

また、腎機能の悪い患者さまの撮影時は、造影剤量を減量しながら通常の造影剤量と同等の画像の提供が可能となりました。

以上の多彩な機能を使用し、今後とも安全かつ正確な検査の実施と共に、今まで以上に診療に有用な画像提供をして参りますので、宜しくお願い致します。



下肢血管画像



頭部血管画像



頸椎金属インプラント画像

# 当院 看護外来のご案内

## 当院では毎週水曜日に看護外来を行っています

看護外来とは、専門的な知識や技術を持った認定看護師が、通院治療中の患者さまやご家族、施設スタッフの皆さまからの療養生活上の相談をお受けするための外来です。

医師や薬剤師などの専門部署と連携を取りながら、患者さまの生活をサポートしていきます。



認定看護師とは、看護師の資格を持ち、それぞれの分野で研修を受け、資格を取得した看護師のことです

### ご相談内容の一部

#### 緩和ケア関連

- ご本人より  
「がんと言われた。これからどうなっていくのか(どんな症状がでるのか)知りたい」
- 「緩和ケア病棟やホスピスについて知りたい」
- ご家族より  
「病気の進行で弱っていく家族を見ているのがつらい。話を聞いてほしいし、本人になんて声を掛けたらいいかわからない」

#### 糖尿病関連

- 「健康診断で血糖値が高いと指摘された。糖尿病にならないためにどうしたらいいの?」
- 「甘いものがやめられなくて血糖コントロールがうまくいかない」

### ●看護外来実施予定表

曜日	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	—	—	○	—	—	—

※実施時間内であれば、いつでもお問い合わせください。



### ●認定看護師ポスター

**看護外来で、  
認定看護師に相談しよう。**

毎週水曜日は看護外来

- ✔ 糖尿病
- ✔ 緩和ケア
- ✔ 抗がん剤治療
- ✔ 訪問看護

それぞれの専門知識を持った認定看護師が、毎週水曜日、看護外来を行なっています。各分野の詳細は、会計窓口前雑誌ラックをご覧ください。

ご本人はもちろん、ご家族だけでも、施設のスタッフさんもどなたでもお越しください！

看護外来  
毎週水曜日 9:00~13:00  
相談のご予約・お問い合わせは、お電話または医事課窓口へお気軽にお声がけください。  
TEL 0480-93-0661(代表)



当院にいる  
認定看護師分野

緩和ケア

がん化学療法看護

糖尿病看護

訪問看護

詳しくは院内に掲示しています  
ポスターや病院ホームページを  
ご覧ください

# 園芸療法について

こんにちは！リハビリテーション技術科、作業療法チームです。

皆さん、園芸療法という言葉をご耳にしたことはありますか。  
園芸療法は、園芸作業をリハビリの一環として患者さまと行うものです。

効果としては、手を使って行うため、手先の器用さの向上や多様な姿勢での動作となるため生活動作の中でのバランス能力向上・不整地での歩行訓練・脳を活性化するため認知症の予防・精神活動を高めると言われています。

当院では園芸療法に力を入れており、小規模ではありますがリハビリ室の敷地内に花壇と畑があります。当初は草木が生い茂っていた状態でしたが、柵を設置して土を耕し、整備しました。花壇は車椅子に乗っている方でも園芸が行えるように工夫をしました。今は、旬の野菜であるミニトマトやゴーヤを栽培しています。両方とも順調に育っており、特にゴーヤは7月、8月の暑さ対策としてグリーンカーテンの効果も期待しています。

現在はCOVID19(コロナウイルス感染症)の影響により、患者さまが園芸療法を行うことが困難ですが、状況が落ち着いたら再開したいと考えております。



ゴーヤ



ミニトマト



## 多大なるご支援、ご理解 どうもありがとうございます!



歯科医師会の先生方と

昨今の新型コロナウイルス感染症対策にあたり、マスクをはじめとした防護具不足に当院も悩まされておりました。そんな中、自院の備蓄分を回してくださったり、少ない在庫を譲ってくださったりと多くの方々のご支援を頂きました。本当にありがとうございます。

また、患者さま、ご家族さまにおかれましては面会制限であったり、来院の際のトリアージ(症状があるかどうかのご質問など)にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

まだまだ油断ができない状況が続きますが、皆さまの安全を第一に考え、今後も地域医療の一翼を担っていきたいと思います。



感染対策委員会

### 医療安全専門誌 『病院安全教育』掲載



『病院安全教育』という医療安全の専門誌に当院医療安全管理課 渡邊課長が寄稿することになりました。

「薬剤師の特性を活かした患者安全の体制づくりと活動の実践」というタイトルで6ページに亘る巻頭記事です。全国でも珍しい薬剤師の専従医療安全管理者という渡邊課長ならではの視点から、これまでの医療安全の実績、当院における組織体制作り、業務改善の取り組み、活動の成果等を解説する内容となっています。さらに今後1年以上にわたる連載執筆も決定しました。次回(8月・9月号)は「患者安全部会機能別チーム編成について」の記事となります。

病院理念にある「安全で確実なわかりやすい医療」を提供するため、職員一丸となって医療の安全と質の向上を目指し、今後も改善を進めていきたいと思っております。ご支援よろしく申し上げます。

# 白岡ファミリー クリニック

住所:〒349-0217  
埼玉県白岡市  
小久喜200-1

TEL:0480-90-5590



院長  
辺田 哲郎

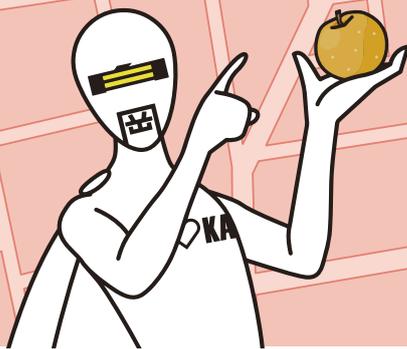


**診療科目** 皮膚科、内科、  
訪問診療

**診療時間** 【休診日】火曜午後・水曜・土曜午後・日曜日・祝日

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	—	●	●	●	—
午後 16:00~18:00	●	—	—	●	●	—	—

平成21年に開業して11年目になります。外來は専門医として皮膚科診療を行い、また地域のかかりつけ医として一般の内科外來診療も行っています。また在宅療養支援診療所として訪問診療にも力を入れています。今後も地域のかかりつけ医として気軽に相談できるクリニックになるように努めていきたいと思ひます。



taylor shop

Shiraoka Central  
General Hospital

## 編集後記

広報委員会 井上

連日暑い日が続き、いよいよ夏本番ですね。熱中症にならないよう、水分補給に気を付けていきたいです。さて、「きざはし95号」も無事に発行できました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。今月号は新入職員のお知らせや挨拶がありました。「きざはし」もフレッシュに、新しいことにチャレンジしていきます。次号は10月発行予定です！お楽しみに。



医療法人社団哺育会  
白岡中央総合病院

〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜938番地12

TEL:0480-93-0661 FAX:0480-92-8462

<https://www.scghp.jp>



日本医療機能評価機構認定

# きざはし 95

●発行:白岡中央総合病院 ●発行責任者:橋本 視法  
●発行日:2020年7月15日 ●編集:広報委員会



白岡中央総合病院 公式ページ

白岡中央総合病院

検索



FACEBOOKページ公開中!!

白岡中央総合病院のことを、より身近に感じていただけるようFACEBOOKのページを公開しています。ぜひ、ご覧ください。

